

# 平成25年度 事業報告

公益法人移行後、2年目を迎え、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的であり一層充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

## 事業活動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、細菌検査及び検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

### (1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を派遣して食鳥検査を行っている。

<25年度 実績>

(ア) 検査員の派遣実績 (6 処理場合計) 延べ 1,584 日 延べ検査員数 3,437 人

(イ) 食鳥検査羽数の実績 14,717,591 羽

(ウ) 検査結果 (処分の状況 6 処理場合計)

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合計
94,900 (0.64%)	71,217 (0.48%)	273,711 (1.86%)	439,828 (2.99%)

### (2) 食鳥肉等の細菌検査事業

食鳥肉の衛生水準の向上を図るとともに、検査センターの人材と検査機材の有効活用を図るため、委託元である県、市に提言し、委託元の理解を得て行っている事業で、処理された食鳥肉及び機械器具等の検査を計画的に反復実施し、その結果を基に独自事業として食鳥処理場における衛生管理の改善に向けて助言、指導している。

<25年度 実績>

#### (ア) 食鳥検査センター検査室における検査実績

検査項目：生菌数、大腸菌群数、クロストリジア菌数、黄色ブドウ球菌数、サルモネラ属菌及びカンピロバクターの6項目 (各処理場で処理された鶏肉を対象に原則 11回/年)

(クロストリジア菌数 5回/年、カンピロバクター属菌 8回/年)

検査件数：124 延べ検査項目数：640

#### (イ) 各処理場内検査室における検査実績

検査項目：大腸菌群数、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌の3項目

検査件数：345 延べ検査項目数：1,035

### (3) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、伝達講習を行い技術の研鑽に努めている。なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

<25年度 実績>

年月日	講演内容	講師
25.4.14	24年度食鳥肉衛生技術研修会研究発表に係る報告	尾崎勇検査員、安田昇検査員
25.9.15	最近の鶏病性鑑定実施状況について	愛知県中央家畜保健衛生所 高度病性鑑定課 山本雅夫 課長補佐

25.11.10	食鳥処理場における衛生管理	愛知県健康福祉部 生活衛生課 森一明 主任主査
----------	---------------	----------------------------

公2 獣医学術、獣医療の専門識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

<25年度 実績>

\*第1回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成25年8月25日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1101号室

演 題：肝臓病の診断アプローチと内科治療

講 師：坂井 学 先生（日本大学 専任講師）

参加人数：会員35名、非会員11名 合計46名

\*第2回 臨床部会小動物学術セミナー

日 時：平成25年10月27日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1102号室

演 題：徹底攻略：犬にかゆみ動作

講 師：藤田 淳 先生（東京農工大学 准教授）

参加人数：会員53名、非会員14名 合計67名

\*第1回 畜産部会学術セミナー

日 時：平成25年12月6日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階1008号室

演 題：ワクチン接種により抗体価が上昇しない事例があるのか？

講 師：函城 悦司 学術課長（株式会社微生物研究所 営業支援室）

参加人数：会員31名、非会員0名 合計31名

\*第1回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：平成25年12月15日

会 場：キャッスルプラザ 4階 梓の間

演 題：狂犬病発生について考える ～現状と課題～

講 師：杉山 誠 先生（岐阜大学 応用生物科学部 獣医学講座 人獣共通感染症研究室 教授）

参加人数：会員50名、非会員1名 合計51名

\*第2回 公衆衛生部会研修会

日 時：平成26年2月18日

会 場：東山動物園及び動物会館

演 題：アジアゾウの繁殖と新アジアゾウ舎の建設について

講 師：茶谷 公一（東山動物園 飼育第一係長）

参加人数：会員30名、非会員31名 合計61名

\*平成25年度 第52回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：平成26年3月2日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1107号室及び1108号室

発表演題数：17題（畜産：6題、臨床：7題、公衆衛生：4題）

【特別講演】(産業動物、公衆衛生の部)

演 題：国内で発生しているダニ媒介性感染症

講 師：角坂 照貴 先生(愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座 講師)

【特別講演】(小動物の部)

演 題：腫瘍学のアップデート

講 師：森 崇 先生(岐阜大学 応用生物科学部 獣医分子病態学 准教授)

参加人数：会員 68 名、非会員 5 名 合計 73 名

(2) 学会発表推進事業

(公社) 日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<25 年度 実績>

・獣医学術中部地区学会発表者 11 名

公3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

(1) 狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年4月から6月を狂犬病予防注射月間として活動しておりTV広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<25 年度 実績>

(注射済票・鑑札交付事業)

注射済票交付枚数：95,187 枚 鑑札交付枚数：7,051 枚

(広告宣伝事業)

TVスポットの実績：3月25日～4月20日に電通中部支社を通してメーテレにて延べ23回実施した。

(2) 共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<25 年度 実績>

日 時：平成26年2月2日

会 場：名古屋市獣医師会館大講義室

演 題：小動物領域で見られる真菌感染症 ～今後注意すべき真菌症・特に人獣共通真菌症を中心に～

講 師：村田 佳輝 先生(むらた動物病院)

参加人数：会員 32 名、非会員 25 名 合計 57 名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬等)利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。

<25 年度 実績>

\*助成実施頭数 9頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業(県民公開講座)

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<25年度 実績>

\*学校動物飼育支援委員会（県民公開講座）

日 時：平成25年8月4日

会 場：愛知県教育大学自然科学棟 3F 第一学生実験室

講演内容

(1) 学校での動物飼育は大変ですか？

1) 学校での飼育方法を見直す 2) 学校飼育のリスク管理 3) 安心して飼育を行うために

(2) 学校での動物飼育の意義

1) なぜ学校で動物を飼育するの？ 2) 飼育の効果

(3) 模擬ふれあい教室

\*本会が実施している“学校動物ふれあい教室”を実際に参加者に体験していただきます。

講 師：学校動物飼育支援委員会委員

参加人数：会員16名、非会員7名、教育関係者47名 合計70名

\*動物愛護・共生委員会（講演会）

日 時：平成26年2月11日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階1006号室

演 題：「絆」を大切にす獣医療を目指して

講 師：アームズ株式会社 代表取締役 氏政 雄揮 氏

参加人数：会員30名、非会員10名、合計40名

(2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<25年度 実績>

・9月21日 動物愛護フェスティバルinとよた

・9月23日 東山動物園慰霊祭

・11月7日 本会慰霊祭

(3) 動物愛護事業（動物愛護図画コンクールの表彰）

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<25年度 実績>

・日本獣医師会長賞 1作品、愛知県獣医師会長賞 1作品

(4) 動物愛護事業（長寿犬表彰）

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<25年度 実績>

・長寿犬表彰頭数 12頭

(5) 学校動物飼育支援事業（ふれあい教室）

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<25年度 実績>

\*ふれあい教室 68校（延べ83回）

\*飼育相談対応 7校・7回

(6) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<25年度実績>

\*実施登録獣医師数：83名

\*保護指導数（鳥類：83種・208件、獣類：7種・9件）

\*関連セミナー（保護指導獣医師、その他獣医師、一般県民対象）

日時：平成25年11月17日

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1104号室

演題：動物真菌症 ～ 基礎から臨床へのフィードバック ～

講師：花房 泰子 先生（動物衛生研究所 細菌・寄生虫研究領域）

参加人数：会員32名、非会員4名 合計36名

他1 会員に対する相互扶助等事業

(1) 互助・福祉厚生事業

(ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。

(イ) 同好会への助成実績

- ・自転車同好会（チャリベッツ）への助成。
- ・12月23日開催 第4回ゴルフコンペへの助成。
- ・ソフトボール同好会対外試合（年3回の開催）への助成。
- ・中日西濃駅伝参加への助成。

(ウ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償責任契約」を契約。

・平成25年度の契約人数は482名。

(エ) 今年度も顧問弁護士契約を継続。

(オ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

(2) 会員の表彰

・中部獣医師会連合会会長表彰に18名推薦。

(3) 会員の弔慰

- ・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。
- ・出産祝、病气見舞及び災害見舞の給付をした。

(4) 獣医療証明様式等頒布事業

・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。

<25年度頒布実績>

証明書A：1,549冊・証明書B：97冊・動物医薬品指示書：376冊・出荷制限期間指示書：7冊

狂注済票：226冊・狂注猶予証：32冊・同意書：58冊

(5) 獣医師の倫理向上に関する事業

\*臨床部会綱紀・獣医事委員会を9回開催し、獣医療過誤申出について検討した。

(開催日：4/4・6/6・7/11・8/29・9/19・10/17・11/28・1/23・3/27)

\*臨床部会綱紀・獣医事委員会主催で新入会員研修会を開催。

日時：平成26年2月16日

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1109号室

演題：(1)獣医師会概要、(2)獣医療トラブルと獣医事問題について、(3)コミュニケーションスキル

講師：綱紀・獣医事委員及び北川 均先生（岐阜大学）

参加人数：臨床部会新入会員：14名（開業会員：10名・勤務会員4名）

\*獣医事問題講演会

日時：平成26年3月9日

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 13階1105号室

演 題：獣医事問題及び診療に関わる法律問題とQ&A

講 師：長崎 淳一（(一社) 日本小動物獣医師会獣医事部長）

小堀 優（みらい法律事務所・(一社) 日本小動物獣医師会顧問弁護士）

参加人数：会員 15 名（開業会員 14 名・勤務会員 1 名）

(6) 獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について（大村愛知県知事へ要請書を提出）

# 平成25年度事業報告附属明細書

(自：平成25年4月1日 至：平成26年3月31日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）  
該当事項はない。

管理部門

1. 会員の状況

区分	平成24年度末 会員数	平成25年度中の異動			平成25年度末 会員数
		入会者数	退会者数	増減	
会員数	956	33	35	△2	954

(賛助会員2団体は、含まない。)

<会員数の内訳>

部会名	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会
部会別会員数	263名	474名	217名

2. 会費未納入状況

(1) 平成25年度部会別会費未納者状況(平成26年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	1名	16,000円
臨床部会	5名	148,000円
公衆衛生部会	3名	48,000円
合計	9名	212,000円

但し、会員権停止2名(臨床部会・勤務会員)を含む

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
50,000円	0名	2名	0名	1名	100,000円
16,000円	1名	3名	3名	7名	112,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円

(2) 平成25年度臨床部会費未納者数: 3名(75,000円)

(3) 平成24年度部会別会費未納者状況(平成25年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	3名	48,000円
臨床部会	7名	248,000円
公衆衛生部会	5名	80,000円
合計	15名	376,000円

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
50,000円	0名	4名	0名	4名	200,000円
16,000円	3名	3名	5名	11名	176,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円

(4) 平成24年度臨床部会費未納者数: 8名(200,000円)